

令和元年 7月 25日

「親子で学ぼう！読書感想文」



第1部 親子一緒にのプログラム・第2部 子どもプログラムの様子

【第1部 親子一緒にのプログラム】



★最初の1時間は、本を選んで読んでもらう時間です。親子で図書館で準備してくれていた本を手にとったり、読書感想文を書く本の選び方について図書館司書の人に相談をしたりしたあと、それぞれの親子は、読む場所を決めて、自分で持ってきた本や、図書館で選んだ本を読んでいます。

★親子一緒に過ごす時間でしたが、本を決めたり、図書館の司書との相談の時間は親子で話し合っていました。読む本を決めて、読書タイムとなると、親も子ども達も、本を読むことに集中。会話を禁止していたわけではないのですが、ほとんど私語も聴かれないほど静かでした。

★家で本を読んでくる親子は第2部からの参加も可能としていましたが、ほとんどの親子が最初から参加し、ともに本を選び、読書を楽しむ時間となっていました。

★1時間が過ぎたところで、子どもプログラムと大人プログラムに分かれるために、保護者、子ども達それぞれのプログラムを受ける教室への移動を開始。



【第2部 子どもプログラム】

講師：伊藤 かすみさん

(一般社団法人教育コミュニケーション協会 キッズ作文トレーナー)



★キッズ作文トレーナーの先生が、楽しく、読書感想文の書き方を教えてくださいました。

★先生の説明に合わせて、「読んだ本のタイトルは？」など、プリントに書いてある質問に答えていきます。

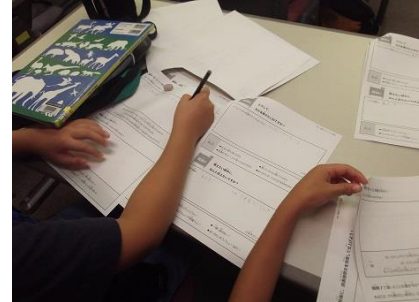
★プリントに書いている質問に答えていくと、書いた答えが読書感想文の下書きになります。

選んだ本を読み返しなが、また、先生のお話を聞きながら、プリントに書いている質問の答



えを書いていきました。最初は鉛筆が進まない子も多くいましたが、答えやすいところから書いたり、先生がちがう言葉で質問をしてくれたりして、子どもたちの言葉を引き出すことで、質問の答えがひらめいているようでした。

★最後に、下書きした質問の答えをまとめていきます。ここからは、もう本は見ません。下書きを見ながら、みんなとも集中して読書感想文を書いていきます。時間に限りがあるため、自分の満足する形で最後までまとめることができなかつた子どももいましたが、読書感想文の書き方がわかったから家でがんばると笑顔で帰っている姿が見られました。



♡アンケートより♡

- ・むずかしかったけどたのしかった。
- ・ちょっと楽しかった。
- ・おもったよりたのしかったしかんたんにかけておもしろかった。
- ・いがいとわかりやすかった。
- ・わたしはどくしょ感そう文はとくいではないのでうまくないのですが、今日は先生のおかげでうまく書けました。
- ・読書かんそう文をかくきかいがあれば、今日ならつたことを思い出して書きます。
- ・スイスイ書けてスッキリした。
- ・やっぱりむずかしいなあと思った。
- ・どくしょかんそう文のかき方をおしえてくれたおかげで、これからかんそう文をかいてくとおもいました。

